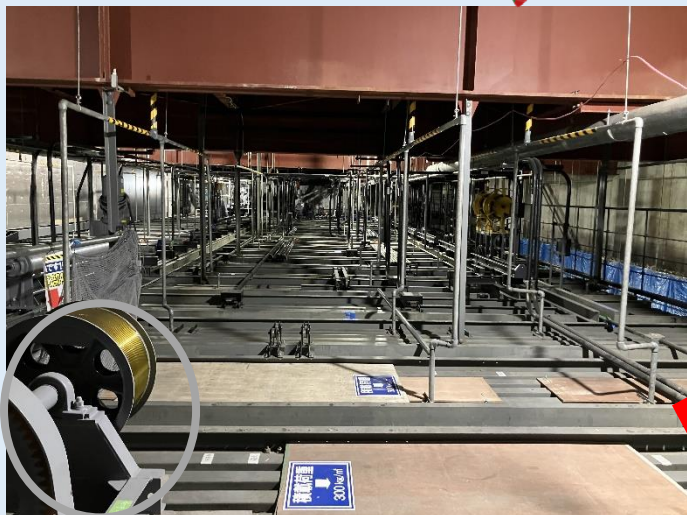


大規模改修工事進捗状況のお知らせ

令和7年12月 Vol.4

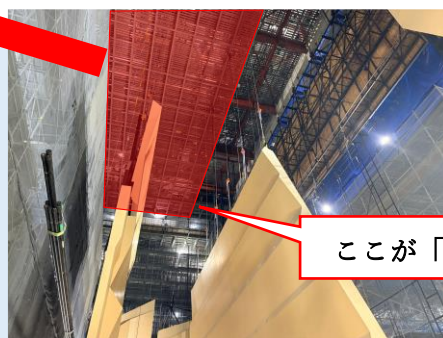
名古屋国際会議場は令和7年2月から令和9年3月末まで閉場し、大規模改修工事を実施しております。場内の改修工事の令和7年11月時点の進捗状況をお知らせしてまいります。

センチュリーホール



11月にご紹介した舞台の床から27m上にある「すのこ※」の様子です。舞台の真上にあるため普段目にすることはありません。現在は既存の舞台装置やワイヤーの撤去が完了し、新設工事が始まっています。（写真左〇は新しい設備です）

↓ 舞台から上部を見上げた写真

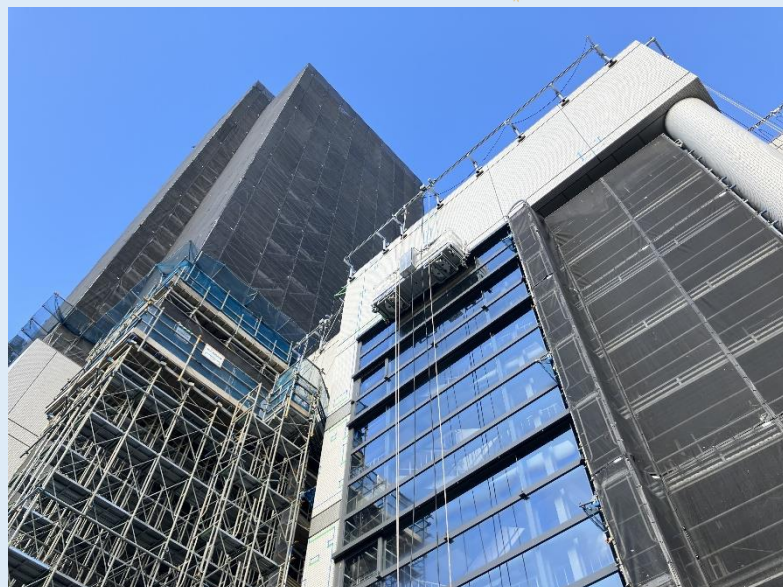


ここが「すのこ」

※舞台の真上にある格子状の設備。東京では「すのこ」と呼ばれ、京阪では「葡萄棚」と呼ばれています。上から仕掛け物を吊ったり、舞台に散り花や雪を降らしたりします。

建物南側 外装工事状況

建物南側の外装改修工事状況の写真です。当工事では、外壁タイルの補修、建具の塗装、継ぎ目等のシール打ち換え、クリーニング等の工事を行っています。写真に見られる通り、組立式の足場だけでなく、ゴンドラを使い作業を行っています。外装工事は天候や気温の影響を受けやすく、塗装工事やシール工事（※）は雨や雪が降っていると品質不具合が起こることがあり施工できません。また、外気温が5℃以下の場合も品質不具合が起こる場合があるため施工できません。天候や外気温に留意し、工事を行ってまいります。



※シール工事とは水密性・気密性のために部材接合部の隙間や目地にシーリング材を充填する工事です。目地にペースト状のシーリング材を充填後、シーリング材が硬化することにより、上記性能を発揮します。